



令和2年11月30日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第22号

子どもたちのためのミニコンサート ～本物は素晴らしい～

11月20日（金）、蒲刈中学校の体育館で「子どもたちのためのミニコンサート」が公益財団法人 蘭島文化振興財団 主催で開催されました。

今年は、テノール歌手 澤原 行正（さわはら たかまさ）様，ピアノ 越前 皓也（えちぜん こうや）様に素晴らしいミニコンサートをしていただきました。お二人とも広島県にご縁があり，特に澤原様は呉市のご出身です。

音楽の授業で聞いたことがある歌を実際に歌っていただいたことは，大変貴重な経験で，普段，テレビやCDなどで聴くのと全く違う迫力と美しさを感じることができました。そして，歌の前後には，作曲者や歌について分かりやすく軽妙に説明していただきました。

最後は，小中学生からの質問にも丁寧に答えていただき，歌もピアノも毎日何時間もしっかり練習していることや，曲の背景にあることをしっかり勉強するなど大切であると教えていただきました。

あっという間に時間が過ぎてしまいました。これからもお二人の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

1. ドナウディ作曲 「ああ愛する人の」
2. 瀧廉太郎作曲 「荒城の月」
(詩：土井晩翠)
3. 山田耕筰作曲 「この道」
(詩：北原白秋)
4. 藤井清水作曲 「阿蘭陀船(おらんだぶね)」
(詩：北原白秋)
5. 小林秀雄作曲 「落葉松(からまつ)」
(詩：野上彰)
6. デ・クルティス作曲 「帰れソレントへ」
7. ララ作曲 「グラナダ」



読み聞かせを始めました

～専門家にアドバイスを受けています～

原則毎月第3金曜日の朝、絵本の読み聞かせを行っていただくことになりました。

読み聞かせの効果は科学的に実証されており、聞き手の脳では大脳辺縁系【人間の本能をつかさどる大脳の中心部にある部分】が活発に働いていることが分かっています。大脳辺縁系は喜怒哀楽を生み出し、その感情に基づいて基本的な行動を決めるため「心の脳」とも呼ばれ、「健やかに育っていくためには大脳辺縁系がよい働きかけを受け、情動が豊かになることが大切」と言われています。

11月20日（金）には、3名の方がご来校され、全学年の教室で絵本を読んでいただきました。約10分間の短い時間ですが、これからも楽しい時間になると思います。



期末試験を行いました

～一生懸命問題に取り組んでいます～

11月25日（水）～27日（金）の3日間、2学期の期末試験を行いました。期末試験ですから、全9教科が実施され、生徒の皆さんは試験勉強が大変だったと思います。しかし、試験中は時間いっぱいまで一生懸命問題に取り組んでいました。特に、3年生は高校入試も控えているため、今まで以上に勉強して臨んでいました。

また、今回の試験では、試験発表日から「メディアコントロールチャレンジ週間」と称し、テレビ・ゲーム・スマホなどを使う時間をコントロールしながら計画的に試験勉強を行うよう取り組みました。期末試験の結果は、自己新記録であって欲しいですね。

今後は、毎日の授業に真剣かつ集中して参加し、学力をどんどん身に付けてください。期待しています。

